

WAY から、今年 2 人目となる University College London (UCL) 合格者が出ました。

今回の生徒は、IB 最終試験で 42 点を取得し、UCL の Chemistry with Mathematics に合格しました。Japanese Language and Literature SL では 7 を取得し、Paper 2 では満点という結果でした。

Paper 2 は、複数の文学作品を比較し、作品中の根拠をもとに自分の考えを論理的に論証する試験です。今回の満点という結果には、長年にわたり培ってきた「読み、考え、論証する力」が明確に表れています。

また、最終スコアは大学に提出していた Predicted Grade を 1 点上回り、その 1 点が Clearing を通じた UCL 合格につながりました。本人からも、「最後の最後に本領を発揮することができました」との言葉が届きました。

WAY では、英語では高度な英文の論理と構造を正確に読み取る力を、日本語では自分の考えを整理し、根拠をもって文章で論証する力を育てることを重視しています。

本当の学力とは、知識の量だけではありません。論理を捉える力、文章の構造を理解する力、そして自分の考えを根拠をもって論証する力です。

WAY では、IB という試験の先にも通用する、この三つの力を育てることを教育の中心に置いています。

英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブロークな英語のまま放置されています。それは、まるで液化化した土地に建物を建てていることに似ています。WAY では、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTS の教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTS クラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTS の読解を通して、TOEFL の点数を上げるために、TOEFL 無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFL や IELTS テストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年 IB スコアで 40 以上（今年は 45 の生徒が出ました）が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL100~110 点以上を目指しています。指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用 (IB レベル) までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IB の日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成員を持った論文が書けるようになります。(このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。) 論理的な思考力なくして、IB で高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が必要不可欠だと私たちは考えています。